



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships
30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8264 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術協力活用型・
新興国市場開拓事業
(研修・専門家派遣事業)

2019年7月

募集要項

プログラム&プロジェクトマネジメント研修コース

The Training Program on Program & Project Management **[PPTP]**

2019年11月7日～11月20日

1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。

これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2017 年度（平成 29 年度）までに世界 171 カ国から延べ 190,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 201,000 人余りが参加しています。

「プログラム&プロジェクトマネジメント（注 1）研修コース（PPTP）」は、世界各国のプロジェクトをマネジメントする立場にある参加者を対象に、P2M（注 2）をベースにしたプロジェクトマネジメントとプログラムマネジメントの基礎的知識体系の習得を通して、省エネルギー化を推進していくための管理能力の向上を図ることを目的とし、特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会（PMAJ）の協力を得て企画しました。

注 1) プロジェクト&プログラムマネジメント ---- プロジェクトマネジメントとは、社会インフラにおけるエンジニアリングと建設分野だけでなく、生産設備構築、ICT システム開発、新製品開発、企業におけるマーケティング・キャンペーン等のプロジェクトにおいて、プロジェクトの使命を時間や資源の制約のある状況の中で達成するために、ユニークで新しい価値を創造するための一連の管理プロセスです。プロジェクトは単独で実施することも、プログラムの一環として有機的に結合されたプロジェクト群のひとつとして実施することも可能です。プログラムマネジメントとは、大規模で複合的な問題に取り組むに当たり、包括的な使命の下、活動全体を複数プロジェクトの結合体にとらえ、そこに含まれる各プロジェクトの連携・調整・相互作用を通じて状況変化に対応し、事業の成功や成長、生き残りといった戦略的目標の達成を図る、プロジェクトマネジメントより一段上の、また、より広範囲のマネジメント手法のことです。

注 2) P2M[®] ---- プロジェクト&プログラムマネジメント（P2M）とは、一般財団法人エンジニアリング協会が経済産業省の委託事業として 2001 年に発行した、日本発の「プロジェクト&プログラムマネジメント標準ガイドブック」です。現在は、日本プロジェクトマネジメント協会（PMAJ）が著作権を有し、普及を担当しています。P2M は日本の民間企業、組織、政府の競争力をイノベーションを通じて強化する手段として開発されました。単独のプロジェクトを品質、予算、納期などの計画通りに遂行して成功させるプロジェクトマネジメントの手法であるだけでなく、共通ミッションの下、より高く広い視点から全体最適を考慮しつつ複数のプロジェクトを有機的に統合するためのプログラムマネジメントの標準知識体系でもあります。

2. 対象国：

対象国・地域一覧をご確認ください。

<http://www.aots.jp/jp/ikusei/files/taishokoku.pdf>

3. 参加者の人数：

22 名

4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、開発途上国の企業の経営者、上級管理者、或いはプロジェクトをマネジメントする立場にある管理職、またはプロジェクト・リーダー。プロジェクトマネジメントを指導する立場にある産業振興団体・業界団体の管理者、職員も対象とする。
 - (2) 年齢は20歳以上の方。
 - (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
 - (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
 - (5) 心身健康な方
 - (6) 日本を除く世界各国に居住の方
 - (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
 - (8) 過去に低炭素技術輸出促進人材育成事業及び技術協力活用型・新興国市場開拓事業（研修・専門家派遣事業）の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- *勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。）

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族を同伴することはできません。
- (3) 参加者はAOTSに対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、現地研修を計画し、AOTSの承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日系企業や現地資本企業以外からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が低くなる場合があります。
- (5) AOTSの管理研修コースは、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関に所属する方は参加できません。
- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業1社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接AOTSに申し込む場合は、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

（日本国内の法人を通じてのお申込みの場合）

AOTSのホームページ内の以下の案内をご参照の上、応募書類一式を**2019年9月3日（火）**までに、AOTS研修・派遣業務部（10. お問合せご参照）に到着するよう提出してください。

<http://www.aots.jp/jp/ikusei/management/proc01.html>

※上記AOTS所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【日本語】 <http://www.aots.jp/jp/ikusei/training/doc01.html>

（海外の現地法人からAOTSに直接お申込みの場合）

AOTS海外事務所もしくは海外協力団体を通して、以下の応募書類一式を**2019年9月3日（火）**までにAOTS事業統括部に到着するよう提出してください。

応募書類の提出期限は、各団体によって異なりますので、AOTS海外事務所もしくはAOTS事業統括部（10. お問合せご参照）にお問合せください。

お申込者にはAOTS海外事務所もしくは海外協力団体による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (2) 問診書（AOTS所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (3) 顔写真（4×3cm）2枚（裏面に名前を書いてください）
- (4) 勤務先概要を紹介する資料

- (5) パスポートコピー
※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。
- (6) 事前研修レポート
- (7) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式）
- (8) 研修生個人情報の取り扱いについて（AOTS 所定様式）
※この書類は、本人が署名の上ご提出ください。内容に同意いただけない場合、または未提出の場合、コースへの参加が認められません。
- (9) 管理研修の研修効果について（AOTS 所定様式）
※この書類は、質問形式となっております。原則として本人の勤務先の代表者の方がご記入ください。（本募集要項の最後にこの様式があります。）
- (10) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用）

注意：

※ソフトコピーでの書類は受け付けません。

※他にも必要に応じて書類を求められることがあります。

※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【英語】 <http://www.aots.jp/en/ikusei/application.html>

提出された応募書類は、2019 年 10 月 3 日（木）の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時点で 20 名に満たない場合、本コースを中止または延期します。

6. 研修コースの概要：

■ 目的

本コースは、(1) ひとつのプロジェクトを計画し管理するためのプロジェクトマネジメントの**知識体系**と基礎的適用スキルを習得すること (2) 企業競争力・産業革新・グローバルな持続性のためにますます重要となっている先進的なプログラムマネジメントの概念を学ぶこと (3) プログラム&プロジェクトマネジメント管理者の役割について認識を深めること、を目的として設計されています。効果的な目標設定・プロジェクト計画および管理・品質管理と資源管理を通して、直接的なビジネス上のゴールを達成することから、「グリーンエコノミー」「デジタル化 (IoT, AI, robotic)」「Society 5.0」などのキーワードで特徴付けられる新しい経済モデル、より先進的なゴールの達成まで、プログラム&プロジェクトマネジメントをどのように適用するかを学ぶ機会が与えられます。

■ 期間

2018年11月7日（木）～11月20日（水）（2 週間）

■ 内容

【ステップ 1：プロジェクトマネジメント】

プロジェクトを実施・管理する上で共通言語となるプロジェクトマネジメントの用語、適用範囲、手法について学びます。また、プロジェクトマネジメントを提供する仕組み作りを利用した低炭素社会のモデル作りや、低炭素社会におけるプロジェクトマネジメントの効果を学びます。

【ステップ 2：プログラムマネジメント】

組織戦略の実現に向けてプログラムの形成、デザイン、構造、実施管理等、複数プロジェクトを組み合わせるプログラムマネジメントの考え方を学び、実践のための基礎知識について学びます。また、プログラム&プロジェクトマネジメントによる低炭素化事例を学びます。

【ステップ3：まとめ】

コース中に学んだことについて理解度テストを通して習熟度を確認し、プログラム&プロジェクトマネジメントを実践するための自身の役割を認識します。

また、事前レポートに当初記載した省エネ・省資源に向けた数値目標、あるいは仕組みモデル構築の実現可能性について、本コースで学んだプログラム&プロジェクトマネジメントの考え方・事例を参考として、振り返り評価をします。

本研修プログラムは P2M[®] に基づきプログラム&プロジェクトマネジメントのシステムと方法を学ぶために設計されています。

P2M[®]は一般財団法人 エンジニアリング協会が日本の経済産業省の委託事業として 3 年間のリサーチを経て 2001 年に発行した「プロジェクト&プログラムマネジメント標準ガイドブック」で 2002 年以來、日本プロジェクトマネジメント協会 (PMAJ) が普及を担当しています。もともと P2M は日本の企業、団体、行政等のイノベーションによる競争力強化を支援するためのツールとなることを期待され開発されたものであり、品質、予算、納期等を守っていかにして 1 つのプロジェクトを成功させるかということだけではなく、より高い視点から全体最適を考え、複数のプロジェクトを統合するプログラムマネジメントの知識体系であるので、本研修コースは一つのプロジェクトを実施する上での共通言語となるプロジェクトマネジメントの用語、手法等の基礎の確実な習得を中心的な目標としながら、より高次のプログラムマネジメントの概念についても学習することができます。

参加者は本コースに参加することで、P2M の資格試験である PMS (Project Management Specialist) 試験国際版レベルの体系的な知識を習得するのに加え、プロジェクトマネジメントの責任者としての自身の役割についてより具体的なイメージを持てるようになります。本コースを修了した参加者は AOTS 修了証書を授与されるだけでなく、特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会より International P2M Practitioner (iP2M) 資格証明書を授与されます。

さらには、P2M ベースでプロジェクトマネジメントを学び、実際の日本の企業の事例に触れることにより、日本政府及び日本企業の戦略と取組について知る機会を得て、参加者は帰国後日本企業とのビジネス等の場面で日本の産業界とのコミュニケーションを円滑にするベースとなる知見を得ることも期待できます。

コースは通常午前 3 時間、午後 3 時間の講義からなり、夕食後にグループ討論が行われることもあります。日程表 (予定) をご覧ください。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

■ コース・ディレクター

田中 弘 氏

特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会 (PMAJ) 学術顧問・元理事長。

フランス SKEMA Business School 大学院博士課程国際教授 博士課程生の研究指導、P2M 論担当。ウクライナ国立工業大学 3 校 (キエフ、オデッサ、ニコラエフ) 大学院名誉教授、プロジェクトマネジメント学部顧問、グローバル PM 論、P2M 論担当。セネガル CASR 3 PM 大学院大学博士課程長代行。国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科非常勤講師 (前客員教授)。公立大学法人岡山県立大学教育研究推進機構客員教授 大学教育グローバル化推進・大学院プロジェクトマネジメント実践論担当。慶應義塾大学大学院経営管理研究科訪問教授 (グローバル P&PM 論主任教員)。総合エンジニアリング企業 日揮株式会社での 42 年間の勤務経験を持ち、世界のプロジェクトマネジメント界で活躍中。フランス博士号、ウクライナ名誉教授国家学位 (3 件) を保有。経済産業大臣賞受賞 (2008 年)、ウクライナ政府貢献瑞光勲章叙勲 (2010 年)、インド政府国家プロジェクト計画調整大臣賞受賞 (2005 年)、ウクライナ財務大臣貢献表彰受賞 (2012 年) ほか、国際プロジェクトマネジメント界から表彰 10 件。

■ 講師陣

コース・ディレクターと特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会(PMAJ*)並びに AOTS に登録された講師が指導します。

*PMAJ は、プロジェクトマネジメントの知識とスキルを発展・普及するために設立された非営利組織です。
(<http://www.pmaj.or.jp/>) 以下のような業務を主に行っています。

1. 我が国のプログラム&プロジェクトマネジメント標準ガイドブック (P2M) の発行・維持・改善主体として、P2M の国内外への普及事業
2. P2M に基づく資格試験の実施機関であり資格者の認定・登録等の業務
3. PM に関する研究開発および国内外 PM 関連団体との交流
4. PM に関する普及・研修・セミナー事業
5. PM 実践者・関係者の交流・相互研鑽のためのオープン PM コミュニティーの提供

■ 研修場所と宿泊施設 (変更される可能性があります。)

AOTS 東京研修センター (TKC) <http://www.aots.jp/jp/center/about/tkc.html>

120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話 : 03-3888-8231 (受付) ファックス : 03-3888-0763

7. 経費：

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

【試算例 1】中堅・中小企業の場合

11/6来日・11/7～11/20研修コース参加・11/21帰国 (日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>157,794</u>	105,196 [2/3]	52,598 [1/3]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	248,000	160,000
3. 国内移動費 (成田 空港 - 東京研修センター)	<u>5,260</u>	5,260	
合計	<u><u>571,054</u></u>	<u><u>358,456</u></u>	<u><u>212,598</u></u>

【試算例 2】一般企業の場合

11/6来日・11/7～11/20研修コース参加・11/21帰国 (日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>150,060</u>	50,020 [1/3]	100,040 [2/3]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	204,000	204,000
3. 国内移動費 (成田 空港 - 東京研修センター)	<u>5,260</u>	5,260	
合計	<u><u>563,320</u></u>	<u><u>259,280</u></u>	<u><u>304,040</u></u>

【試算例 3】一般企業（アフリカからの受入）の場合

11/6来日・11/7～11/20研修コース参加・11/21帰国 (日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>150,060</u>	75,030 [1/2]	75,030 [1/2]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	218,000	190,000
3. 国内移動費 (関西 空港 - 東京研修センター)	<u>1,780</u>	1,780	
合計	<u><u>559,840</u></u>	<u><u>294,810</u></u>	<u><u>265,030</u></u>

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。

※渡航費は補助対象外となります。

※別途、運営賛助金のお支払いについてご相談させていただきます。

※研修コース参加後に現地研修をご希望の場合、経費については、AOTS研修・派遣業務部 研修業務グループ（10. お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金 10 億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。

◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舎費・食費	来日日のみ	8,180 円/泊
	来日日以外	9,020 円/泊
研修旅行時	宿舎費	10,267 円/泊
	食費	2,620 円/泊
雑費		1,040 円/泊

※上記金額は消費税 10%適用（2019 年 10 月 1 日施行予定）時の金額です。ただし、国内移動費については鉄道会社の消費税 10%適用時の運賃、料金が発表されていないため現状の金額を掲載しています。

<海外の法人からお申し込みの場合>

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。
(<http://www.aots.jp/jp/ikusei/management/files/19pptp-e.pdf>)

8. 査証 (V I S A) の取得について :

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

AOTS 研修参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって在外日本国大使館/総領事館 (以下「在外公館」とする) にて「研修」査証の申請をし、査証を取得していただきます。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合がありますので時間に余裕をもって申請願います。

(3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「A P E C ・ビジネス・トラベルカード (A B T C)」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致しているかについて、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

9. 個人情報の取扱いについて :

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

(1) 個人情報の管理者： 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長

連絡先： 総務企画部 総務グループ

電話：03-3888-8211 E-mail: kojinjoho-cj@aots.jp

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、研修生受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。それ以外の利用目的又は法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

10. お問い合わせ :

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内企業からのお申込の場合

研修業務部 研修業務グループ

住所 〒104-0061 東京都中央区銀座 5-12-5 白鶴ビル 4 階

電話：03-3549-3051

Fax：03-3549-3055

E-mail: g-ukeire-ak@aots.jp

海外からのお申込の場合

事業統括部 海外協力グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東 1-30-1

電話：03-3888-8256

Fax：03-3888-8264

E-mail: shouhei-au@aots.jp

海外事務所

バンコク事務所 (Bangkok Office)

次長 戸田 英信

住所：Nantawan Building 16F, 161 Rajadamri Road, Pathumwan, Bangkok 10330

電話：66-2-255-2370

Fax：66-2-255-2372

E-mail: information@aots.or.th

ジャカルタ事務所 (Jakarta Office)

所長 田中 雅聡

住所：3A Floor, Graha Mandiri, Jl. Imam Bonjol No. 61, Jakarta 10310

電話：62-21-230-1820～1 Fax：62-21-230-1831 E-mail：information@aots.or.id

ニューデリー事務所 (New Delhi Office)

所長 神田 久史

住所：Office No. 504, 5th Floor, International Trade Tower, Block-E, Nehru Place,
New Delhi, 110019

電話：91-11-4105-4504 E-mail：info@aots.org.in

ヤンゴン事務所 (Yangon Office)

所長 馬場 宏和

住所：Room Unit 401, Yuzana Hotel 4th Floor, 130 Shwe Gon Taing Road, Bahan Township,
Yangon

電話：95-1-8604922 E-mail：info@aots.org.mm

プログラム&プロジェクトマネジメント研修コース [PPTP]
日程 (予定)

2019年11月7日 - 11月20日

AOTS 東京研修センター

Day	午前 (09:00-12:00)	午後 (13:00 - 16:00)
11月6日 (水)	(来日)	
7日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> • オリエンテーション • 開講式 	講義: 導入講義: 日本企業が創成した、21世紀のダイナミックマネジメント思想と方法論、プログラム&プロジェクトマネジメント概説
8日 (金)	講義: プロジェクトマネジメント総論 (1) <ul style="list-style-type: none"> • PMの全体プロセス、活用環境、企業レベルでの必要リソース、PM活用の期待成果 • PMのライフサイクル観、プロジェクトのミッション設定と目的の明確化 	講義: プロジェクトマネジメント総論(2) -- <ul style="list-style-type: none"> • プロジェクトのスコープマネジメント • プロジェクトのスケジュール計画と進捗管理
9日 (土)	休日	
10日 (日)	休日	
11日 (月)	講義: プロジェクトマネジメント総論(3) プロジェクトのスケジュール管理	講義: プロジェクトマネジメント総論(4) <ul style="list-style-type: none"> • プロジェクトのコスト管理 • プロジェクトの品質管理
12日 (火)	専門家講義: 地球温暖化(気候変動)対策の概要と低炭素社会(Low Carbon Society)実現に向けての官民の各種施策について - 講義とビデオ事例解説	事業所見学: ゼロエネルギー・ビルディング、都市地域環境配慮事業など、事業所レベルでの最先端複合低炭素化技術の活用事例を学ぶ
13日 (水)	グループ演習: プロジェクトマネジメント・ワークショップ	
14日 (木)	講義: プログラムマネジメントの概要 <ul style="list-style-type: none"> • 事業の高付加価値化・イノベーションのためのメカニズム構築・計画化・運営のためのプログラム 	
15日 (金)	講義: プロジェクトマネジメント展開 (1) プログラム&プロジェクトマネジメントのシステム理論 リスクマネジメント	プロジェクト事業所見学: 環境配慮型エネルギープラント、途上国向けインフラプロジェクトに学ぶ
16日 (土)	休日	
17日 (日)	休日	
18日 (月)	講義・演習: 東南アジアを想定した日系企業向けの工場建設プロジェクトの計画と管理	講義: プロジェクトマネジメント展開 (2) <ul style="list-style-type: none"> • プログラム&プロジェクトの組成のためのファイナンス • EPCプロジェクトのコントラクト
19日 (火)	グループ演習: プログラムマネジメントワークショップ (1) 企業競争力強化 (2) サステナビリティ (3) グリーン産業 (4) 省エネプログラム (5) サステナブル、エココミュニティモデル	

20日(水)	講義・テスト：研修の振り返り評価 ・ 講師による研修の纏め ・ 研修参加者研修理解度テスト	講義：研修の振り返り評価 ・ 理解度テスト採点・正答解説 ・ 講師・研修参加者双方向フィードバック 修了式
21日(木)	(帰国)	

- (1) 社業・教職に従事する講師については、業務上の都合により担当日時の変更あるいはコース・ディレクターへの担当変更が生じることがある。また、事業所訪問日時は暫定案であり、調整により、1.5日程度の幅で他のセッションと入れ替えが生じることがあり得る。
- (2) 研修参加者グループの発議により、グループ演習に備えて夜間の準備作業が生じることがある。
- (3) 土曜日・日曜日は休業であるが、週日中の講師・受講者どちらかの止むを得ぬ事情により、半日程度の講義または演習が開催されることがある。

PRE-TRAINING REPORT

**- The Training Program on Program & Project Management -
[PPTP]**

Please fill in the following items **by using a personal computer or similar equipment** in English.

Handwriting should be avoided.

This document will be used as a reference material in 1) the screening process of applicants and 2) the group discussion and the presentation to be held during the program by sharing with lecturers and other participants. Therefore, the applicant is requested to fill in all of the items clearly and concretely.

***AOTS will not use this information for any other purposes other than an AOTS training program.**

The report form is available here in an MS-Word format.

(<http://www.aots.jp/jp/ikusei/management/files/19pptp-e.docx>)

1. Your name	
2. Name of your company/ organization	
3. Outline of your company/organization (Please give a brief description or outline of your company/organization.)	
4. Business outline, product lines/service, and size of business of your company	
5. Your position and name of your department (preferably by attaching an organizational chart indicating your position)	
6. Your duties in detail	

<p>7. Experience of participating in any project at your workplace</p> <p>(Project contents, project period, and your role)</p>	
<p>8. Project for which you are going to work after returning to your home country</p> <p>(Project contents, project period, and your role)</p>	
<p>9. Any management issues or trouble you had in managing a project you engaged in</p>	
<p>10. Your expectations for the program</p>	

Question 3:

(For a representative)

If you have ticked “Yes, I am” in the above Question 2, please answer the following question. When you use what is learned from the AOTS training in your company, how many managers and workers would receive the benefits of this during the year after the training? Please provide your rough estimate below.

About _____ people

Question 4:

If you have ticked “Yes, I am” in the above Question 2, please answer the following question. When you use what is learned from the AOTS training, what benefits do you expect? Tick the following statement that applies to you (multiple answers allowed).

- A reduced load to the environment and energy saving will be realized.
- Technology development and product design and development will be possible in the home country.
- Production capacity will expand. [About _____] %
- Productivity will increase. [About _____] %
- Product and service quality will improve. [About _____] %
- Costs will be reduced. [About _____] %
- Market will be extended.
- Others [_____]

Question 5:

Please provide the sales amounts of your company.

Actual sales for the last fiscal year [_____] USD * 1 USD = 112JPY

Estimated sales for this fiscal year [_____] USD * 1 USD = 112JPY

Question 6:

The AOTS training program costs about 6,000 USD per person to run the course. Do you think the AOTS training programs produce enough benefits to justify the expense (6,000 USD) Tick the following statement that applies to you.

- Yes
- No

Question 7:

The following question is relevant to the above Question 6. Supposing that the expense (6,000 USD) is defined as “1”, describe the benefits obtained from the AOTS training program in numerical value. Roughly assess the benefits for the next five years after the training. Tick the following statement that applies to you. A very rough estimate is fine. Your response is highly appreciated.

- Below 1.0 => Provide a specific value [_____]
- 1.0 or above and below 1.5
- 1.5 or above and below 2.0
- 2.0 or above and below 2.5
- 2.5 or above and below 3.0
- 3.0 or above => Provide a specific value [_____]

End of document